

令和 7 年笛吹市議会第 4 回定例会

令和 7 年笛吹市議会第 4 回定例会の開会に当たり、提出した案件につきまして、その概要を御説明申し上げますとともに、前回定例会以降の行政運営の状況について申し述べ、議員各位並びに市民の皆様に御理解を賜りたいと存じます。

はじめに、上下水道料金の改定についてです。

上下水道事業は、市民生活や企業活動にとって欠くことのできない社会基盤であることから、将来にわたり安定したサービスを提供していくために、平成 29 年度、上下水道料金の増額改定を、急激な負担増を避けるため、2 段階に分けて行うこととしました。

第 1 回目の料金改定では、平成 30 年 4 月に水道及び簡易水道の料金は 24.7 パーセント、下水道及び農業集落排水の使用料は 20 パーセントの増額改定を行い、令和 4 年度に予定していた第 2 回目の増額改定については、上下水道共に一律 20 パーセントの増額改定を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地域経済や市民生活に大きな影響が及んでいたことから、料金改定を見送ってまいりました。

一方で、上下水道事業の財政状況は、人口減少や節水型社会の進展に伴い、収益が上がらない中、エネルギーコストや原材料価格の高騰、施設の老朽化による維持管理費の増加、市の公共下水道が接続している、県の流域下水道への負担金の大幅な増額などにより、毎年、一般会計からの補てんにより赤字を埋めている状況が続いていたことから、令和 7 年 2 月 10 日、上下水道事業審議会に諮問を行い、料金改定の内容や時期について検討をいただきました。

上下水道事業審議会からは、令和 7 年 8 月 13 日に、新型コロナウイルス感染症も 5 類に移行し、経済状況も回復傾向にあること、地方公営企業は独立採算による経営が原則であることから、令和 8 年 4 月から、現在の上下水道料金を 20 パーセント増額する料金改定を行うべきであるとの答申をいただきました。

市では、上下水道事業審議会の答申を踏まえ、欠くことのできない社会基盤である上下水道を、将来にわたり安定して維持していくため、令和 8 年 4 月から上下水道料金を 20 パーセント増額する料金改定を行うことを決定し、今定例会に関連する条例を改正する議案を上程しました。

社会基盤を維持するためには止むを得ないとはいえ、物価高騰が依然として市民生活に影響を及ぼす中、上下水道料金の増額改定を行わなければならないことは、苦渋の決断でした。

現在、国では、物価高騰対策を盛り込んだ総合経済対策の中で、厳冬期の電気・ガス代の補助、ガソリンや軽油の暫定税率廃止、重点支援地方交付金の拡充など、家計支援策が検討されているところですが、市においても、こうした国や県の動向、社会経済情勢を注視しな

がら、その時々に応じて市民生活の支援に必要な施策を実施していきます。

次に、栗原恵バレーボール講演会と実技指導についてです。

10月5日、2004アテネオリンピック、2008北京オリンピックの、女子バレーボール日本代表選手である栗原恵さんをお招きし、講演会と実技教室を行っていただきました。

笛吹市スコレーセンターで行われた講演会では、「やってから後悔するか、やらなくて後悔するか」をテーマに、栗原さんが競技人生の中で得た、挑戦することの大切さについてお伝えいただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、若彦路ふれあいスポーツ館で行われた実技教室では、市内スポーツ少年団、中学生を対象に、レシーブの基本動作などを直接指導していただきました。

参加した子供たちは、目の前で披露される一流選手の技術に、目を見張っていました。

次に、「ふえふき子育て支援フェア2025」の開催についてです。

10月28日、笛吹市スコレーセンターにおいて、地域の子育て支援について知ってもらう「ふえふき子育て支援フェア2025」を開催しました。

会場では、市内の子育て支援センターの紹介や保育所の入所手続相談、親子ができる工作コーナーのほか、ミュージシャンやマジシャンとして国内外で活躍されている大友剛さんの、音楽とマジックに絵本ライブを加えたステージが演じられました。

目の前で展開される不思議な世界に、子供たちは大喜びしていました。

次に、笛吹市スポーツ大使の委嘱についてです。

11月5日、東京2020オリンピックの、男子レスリングフリースタイル65キロ級金メダリストである乙黒拓斗さんに、本市で初めてとなるスポーツ大使を委嘱しました。

今後は、乙黒さんに、笛吹市のスポーツ事業や市の魅力などを広く情報発信していただき、市のスポーツ振興と地域の魅力向上につなげていきます。

次に、第46回川中島合戦戦国絵巻についてです。

11月9日、第46回川中島合戦戦国絵巻を開催しました。

今年は、武田信玄公役に俳優の神保悟志さん、上杉謙信公役に俳優の寺島進さんを迎える。俳優ならではの勇壮な姿を楽しんでいただけるよう演出を行いました。

中でも、川中島合戦戦国絵巻の見どころのひとつである、武田信玄公と上杉謙信公の一騎打ちの場面では、寺島進さんからの提案で、舞台の上で信玄公と謙信公が切り結ぶ演出に変更を行いました。

披露された迫力の殺陣に、集まった観覧者から大きな歓声が上がっていました。

次に、フードドライブ及び子ども家庭支援事業についてです。

10月16日から11月14日までの約1か月間、市民の皆様から職場や御家庭で眠っている食料品を持ち寄っていただき、食を必要とする方々にお届けする取組「フードドライブ」を実施し、期間中は、多くの食料品が寄せられました。これらの食料品は、今後、認定NPO法人フードバンク山梨を通じて、県内の支援が必要な御家庭へ提供されることとなっていきます。

また、12月5日には、本市独自の取組である「子ども家庭支援事業」により、学校給食が提供されない冬休みの期間においても子供の食事が安定して確保されるよう、フードバンク山梨と連携し、小中学生がいる生活支援が必要な子育て世帯約200世帯に対し、米やレトルト食品、缶詰等を配達し、夏に続き今年度2回目の食料支援を行います。

今後も、生活支援を必要とする子育て世帯に対し、食料支援の取組を行っていきます。

次に、笛吹市戦没者合同慰靈祭についてです。

11月26日、笛吹市スコレーセンターにおいて、先の大戦における本市出身の戦没者及び戦争犠牲者2,045柱の御靈に哀悼の意を表するとともに、恒久平和を祈念するため「令和7年度笛吹市戦没者合同慰靈祭」を開催しました。

当日は、御遺族の皆様や、峡東保健事務所長、県遺族会理事長、県議会議員、市議会議長をはじめ来賓の皆様、市議会議員各位に御参列をいただき、厳(おごそ)かな雰囲気の中、参列者一人ひとりが祭壇に献花(けんか)を行いました。

また、石和中学校の生徒の代表が、市内小中学校でつくる笛吹市児童生徒連絡協議会で採択した平和宣言を読み上げました。

慰靈祭の取組が、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝える機会となるよう、今後も継続していきます。

次に、笛吹市愛育フェスティバルの開催についてです。

11月29日、春日居福祉保健センターにおいて、笛吹市愛育連合会の発足20周年を記念した「笛吹市愛育フェスティバル」が開催されました。

当日は、ヴォイスセラピー実践研究家の上藤美紀代さんによる、「声かけで癒すヴォイスセラピーの魅力」と題した講演と絵本の読み聞かせをはじめ、子育て相談や子育て支援サービスの紹介といった子育て支援のコーナーのほか、食育、がん教育などの健康づくりのコーナーなど、愛育の活動に関連したコーナーが開設され、地域全体で子育てや健康を支える「愛育のこころ」を共有する一日となりました。

次に、民生委員・児童委員の改選についてです。

11月30日に任期を迎えることに伴い、3年に1度の改選が行われた民生委員・児童委員は、12月1日から委員200人による新体制でスタートしました。

民生委員・児童委員の選任に当たって御協力を賜りました、行政区長はじめとした多くの皆様、民生委員・児童委員の任を快く引き受けさせていただきました皆様に、改めて感謝を申し上げます。

民生委員・児童委員は、住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする方がいた場合には、行政や専門機関につないでいただきなど、地域福祉を支える重要な役割を担っています。

市民の皆様には、民生委員・児童委員の活動について、御理解と御協力をお願いします。

次に、ワインイベント「フェフキ ワイン パーク ラウンジ」についてです。

11月28日、11月29日の2日間、笛吹みんなの広場において、ワインと料理を楽しむアウトドアワインイベント「Fuefuki Wine Park Lounge」を開催しました。

市内ワイナリー11社のワインと、市内飲食店20店によるワインに合う料理のペアリングによって、ワインの魅力と飲食店の魅力の両方を、来場された多くの皆様に感じていただきました。

引き続き、本市産ワインの知名度の向上と消費の拡大、市内飲食店をはじめ地域の活性化に向けて、取組を進めていきます。

次に、石和温泉郷イルミネーションについてです。

11月28日から来年1月31日まで、さくら温泉通り及び石和温泉駅前通りにおいて、本市の冬を代表するイベントである石和温泉郷のイルミネーションを実施しています。

さくら温泉通りでは、ウッドデッキに設置されたFUEFUKIモニュメントを中心に、近津川の上流にはシャンパンゴールド、下流にはオフホワイトのイルミネーションが灯り、幻想的な光の並木道を演出しています。

石和温泉駅前通りでは、これまでのブルーとホワイトのイルミネーションを一新し、12月1日から来年1月4日までは、ゴールドのイルミネーションを、1月5日から1月31日までは、ライトブルーのイルミネーションを点灯します。

イルミネーションの光と色によって、昼とはまた違った魅力を見せる石和温泉郷を、皆様にも是非、御覧いただきたいと思います。

次に、石和温泉駅構内へのブドウ棚レプリカの設置についてです。

本市が世界農業遺産に認定されている、日本有数のブドウの産地であることをPRし、観光振興につなげるため、11月30日、石和温泉駅の南北自由通路の天井に、ブドウ棚レプリカを設置しました。

12月1日からは、石和温泉駅から石和温泉駅前通りのイルミネーション点灯とあわせて、LEDによるライトアップを行っています。

次に、第29回「俳句の里」山梨県笛吹市全国小学生・中学生俳句会についてです。

今年も全国各地の小中学校から応募があり、455校から3万3,444句の感性豊かな作品が寄せられました。

12月20日には、いちのみやももの里ふれあい文化館において表彰式を開催し、文部科学大臣賞を初め、蛇笏・龍太特別賞などを受賞した作品を発表します。

次に小中学校・保育所等給食費及び保育料無償化についてです。

市の最重要課題である人口減少対策をより一層進めていくことが、持続可能な将来を切り拓くことにつながるとの考え方のもと、子育て支援を一層強化し、誰もが安心して子供を産み、子育てできる環境の充実を図るため、令和8年4月から、小中学校及び保育所等の給食費と保育料の恒久的な無償化を行います。

現時点では、学校給食、保育所等給食、保育料の3つ全てを、恒久的に無償化している市町村は山梨県内ではなく、前例のない試みとなりますが、子育て世帯の負担軽減と子供の人格形成の基礎を培う幼児教育の機会を保障するための取組として、注力していきます。

今後も、子供たちの健やかな成長を地域社会全体で支えるため、「『笛吹こどもまんなか』みんなで育むまちづくり」をスローガンに、子育て支援施策に取り組んでいきます。

令和7年12月2日

笛吹市長 山下 政樹